

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
3【そなえる】	<p>⑮【東日本大震災津波の様子と被害の状況】</p> <p>平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波の様子と被害の状況について理解する。</p>	<p>教科(国語,社会)</p> <p>総合的な学習の時間、道徳、特別活動(学級活動)</p>

**【題材】**「体験を通して学ぶ」・・・震災津波により被災した地域の様子を自分の目で見、震災のお話を自分の耳で聞くという体験を通して、児童一人ひとりが得た思いや気付きをもとに、今後何ができるか、どう行動していくか等を考え、広めながら学習を深めていく。

**【対象・学習の流れ】** 3～6年（34名）

9月13日（金）修学旅行（6年） 宮城県石巻市

10月 4日（金）震災学習（3～6年） 宮古市田老、田野畑村、普代村、野田村、久慈市

＜田老では震災ガイドによる説明、田野畑—久慈間は三陸鉄道震災学習列車を利用＞

10月26日（土）学習発表会（3～6年）震災学習のまとめを1，2年・保護者、地域の方々に報告

**【実践の概要・詳細】**

**① 震災学習（10/4）**

早朝7時に借り上げバスで学校を出発。盛岡、宮古市内を經由し、田老地区へ到着。宮古市観光協会の震災ガイド澤口さんから説明を受ける。旧田老観光ホテル屋上から破壊された防潮堤や震災後の様子を見学し、6階で、社長さんが撮った津波の映像を視聴する。津波の恐ろしさを実感させられるとともに災害が起きたときにとるべき行動や、防災について意識を高めることができた。澤口さんからは、当時被害が拡大した理由や地震が来た時に気をつけること、日頃の備え等についても分かりやすくお話いただいた。沿岸の方々が、震災に負けずに、復興に向けて前を向いて歩んでいることを強く感じさせられた。

その後、田野畑村の道の駅で昼食をとり、田野畑—久慈間の三陸鉄道北リアス線の震災学習列車に乗車。中学年と高学年が2つの車輦に分かれて、久慈駅の駅長さんと総務課長さんから説明を受ける。「あまちゃん」人気で活気付く中、野田村や田野畑村の被災の様子を詳しくお話いただき印象深い学習にできた。

その後は、バスで一路学校へ。学校着は夕方5時だった。



## 震災学習で学んだこと 6年 S・K

田老では、修学旅行で見た石巻と同じように住宅地の跡に、見渡す限り雑草畑が広がっていて、ここにかつて家や店が建ち並んでいたのが想像できませんでした。野田村では、十府が浦という海岸の松林が全て流されてしまったのを知り、津波の強さにぞっとしました。



ぼくは、この見学で、災害から逃れるために必要なことを学びました。それは、「津波てんでんこ」を守ることです。災害時は、自分の命を守るため、避難の仕方をしっかり確認したいです。

震災ガイドさんの話を聞いて、被災地の人々の復興への思いを強く感じました。大事なことは、津波の恐ろしさをいつまでも伝え続けること。こまめに節約し、みんなで復興に協力すること。このことが、災害時の被害を最小限にし、復興につながっていくものと思います。

## ② 学習発表会での報告（10/26）

震災学習で学んだことを、学年ごとにまとめた資料をもとに、学習発表会で、1、2年生や保護者、地域の方々に報告した。作文や壁新聞等、子どもたちが作ったものは、壁面に掲示し鑑賞してもらった。祖母が震災で亡くなった子どももおり、そのことを発表の中でも紹介し、それぞれの思いが伝わる報告ができた。

## 震災学習で学んだこと 5年 U・M

震災学習で私は、宮古市の田老や田野畑、久慈へ行きました。テレビやニュースで見るよりも実際に話を聞いてみると、想像以上の津波の大きさに驚きました。

この学習で学んだことは、日本一の防波堤をこえるくらい津波が高く怖いものだという事です。また、災害で停電が起きたらラジオから情報を得ることも学びました。災害はいつ起きるか分からないので、油断をしないで毎日意識して過ごしたいです。

## 震災学習での感想 3年 U・R

ぼくは、震災学習でたくさんのことを学びました。

二千万円もする定置網が流されたこと。田老観光ホテルの3階までたった7秒で津波がきたこと。ほかにも、津波がきたときの逃げ方やしてはいけないこと等を教えてもらいました。三陸鉄道では、「津波てんでんこ」や「ゆいっこ」を知りました。みんなのことを信じててんでんばらばらに逃げる、そして近所同士で助け合うことが大切と分かりました。駅長さんも、震災の時に、知らない人からおにぎりを半分分けてもらい感動したそうです。ぼくは、この学習で学んだことを多くの人に伝えていきたいと思っています。

## ③ 修学旅行での震災学習（6年）（9/13）

事前学習で調査した後、旅行の最後に、最も被災の大きかった宮城県石巻市を見学。瓦礫が撤去された後のさら地の様子やガイドさんから震災当時のことを詳しく聞き、津波の恐ろしさを改めて実感するとともに、復興への願いを強くもつことができた。

